

■ スワイプコピー⑦【プロ向け(コーチ・カウンセラー)最終版】

■ ヘッドコピー

なぜ、あなたのセッションは「変わらない」のか？
その答えは、スキルではなく“見ている場所”にあります。

■ 本文(最終完成版)

【Problem: 問題】

「ちゃんとやっているのに、なぜ結果が出ないのでしょうか？」

クライアントは話してくれるし、場は成立している。覚えてきた質問の型も、話す順番も、習った通りにやっている。あの有名な資格も取った。それなのに、クライアントは変わらない。紹介も増えないし、新規のクライアントも増えていかない。

どこが悪いのか分からない。何を換えればいいのかも分からない。だからまた次の学びに手を出してしまう。

これまでも、同じような感覚を繰り返してきませんでしたか。

【Affinity: 親近感】

「本当に足りないのは、スキルなのでしょうか？」

もしこの状態に心当たりがあるなら、それはあなたの努力不足でも、スキル不足でもありません。

むしろ、真剣に学び、何とかしようとしてきたからこそ、その状態にいるのだと思います。

ただ一つ、見ている場所が違っていただけです。

あなたは今、クライアントを見ているつもりで、「やり方」を見ています。

質問をどうするか、どの順番で話すか。そのことに意識が向いている時点で、クライアントの本音ではなく、「進め方」に意識が向いてしまっているのです。

それは性格ではなく、これまで学んできた中で自然に身についた“反応のパターン”です。

【Solution: 解決策】

「変えるべきは“やり方”ではなく“見ているレイヤー”です」

では、どうすればいいのか。

必要なのは、無理に変えようとするものではありません。

一度、少し距離を置いて、クライアントの反応を眺めてみることです。

今この瞬間、何が起きているのか。

目の前に出ている感情ではなく、その前にある“無意識の反応”を捉えることです。

つまり、クライアントの頭の中で、どのような判断が起き、その結果としてどんな感情が立ち上がっているのか。その“流れ”を見ることです。

この仕組みが見えるようになると、初めて「なぜ変わらないのか」が分かります。そして、その反応に対して働きかけることで、初めて変化を起こすことができるようになります。

さらに重要なのは、それをクライアント自身も“俯瞰できる状態”を作ることです。

この2つが揃ったとき、初めて変化は定着します。

【Offer: 提案】(修正案)

『心のウイルス図鑑100音声』は、そうした気づきを自然に起こすために作られた教材です。

約15分から20分の音声を100本、合計約30時間。通勤中や日常の中で聞いていだけで、無意識の反応に気づけるように設計されています。

ここで一つだけお伝えさせてください。

「心のウイルス」とは、特別なものではありません。まさに今、あなたの頭の中で起きている“反応そのもの”のことなんです。

だからこそ、この音声を聞いていく中で、「あ、これか」と気づく瞬間が自然に生まれてきます。

さらに、

- ✓ 音声: 約15～20分 × 100本 (合計 約30時間)
- ✓ スライド解説動画: 約7～8分 × 100本 (合計 約11時間)
- ✓ PDF資料: 各テーマ10～15枚 × 100セット (合計1000枚以上)

音声で感覚的に理解し、動画で整理し、PDFで振り返る。この流れで、無理なく身についていくように設計されています。

【Narrow down: 絞り込み】

もしこのまま今と同じやり方を続けていくとどうなるでしょうか。

これまでと同じように手応えのないセッションを繰り返し、結果が見えないまま、また次の学びを探し続けてしまうかもしれません。

実際に、これまでそうだったのではないのでしょうか。

それでもあなたは、今のやり方を続けますか？

【Action: 行動】

あなたはすでに、十分に学んでいます。

足りないのはスキルではなく、「どこを見て、どう捉えるか」という“構造の理解”です。

見るのは、目の前に出ている感情ではありません。

クライアントの中で起きている「無意識の反応の流れ」です。

その流れを理解し、その動きに働きかけられるようになったとき、初めてクライアントは変わります。そして、その変化は戻らなくなります。

そして、結果が出るようになります。紹介が生まれます。集客に繋がっていきます。

さらに、クライアントもあなた自身も、感情に振り回されることなく、落ち着いて状況を見られるようになります。

自分の感覚で判断できるようになり、セッションの主導権を取り戻すことができます。

もし、この流れを変えたいと思うのであれば、ここから始めてみてください。

CTA

👉『心のウイルス図鑑100音声』で、自分の主導権を取り戻す